2023年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験　問題

（学部留学生（文科系専攻））

日　本　語（A）

注意　☆ 試験時間は１２０分

☆ 答えは全て解答用紙に記入すること。

☆ 問題はA（初級）、B（中級）、C（上級）の三つあります。

(2023)

日本語（A）

国籍 Nationality		番号 No.		点数 Marks	
氏名 Name	(フルネームを書いて、姓に下線を引くこと。 Please print your full name, underlining your family name.)				

問　題

A

Elementary Level

Ⅰ ＿＿＿＿に　入る　一ばん　てきとうな　ものを　A～Dの　中から　一つ　えらびなさい。

（例）　わたしは　日本語＿＿＿＿　勉強しています。 A　が　　B　を　　C　に　　D　へ

1　きのう　１２時＿＿＿＿　ねました。

A　ぐらい　　B　ごろ　　C　も　　D　まだ

2　外国の　しゅうかん＿＿＿＿　なれるのに　時間が　かかります。

A　で　　B　を　　C　に　　D　へ

3　＿＿＿＿　悪いものでも　食べたんでしょうか。気持ちが　悪いんです。

A　なにも　　B　なにか　　C　なんにも　　D　なんで

4　みんなの　前で　日本語を　まちがえて、とても　＿＿＿＿です。

A　はずかしかった　　B　にがかった

C　うつくしかった　　D　すばらしかった

5　ことばの　意味が　わからない　とき、辞書を　＿＿＿＿。

A　ひきます　　B　ききます　　C　かきます　　D　はきます

6　ごはんを　＿＿＿＿と　したとき、電話が　かかって　きました。

A　食べよう　　B　食べる　　C　食べた　　D　食べて

7　田中さんは　あの　青い　＿＿＿＿を　している　人です。

A　セーター　　B　ネクタイ　　C　シャツ　　D　ズボン

8　バスが　＿＿＿＿　来なくて、待ち合わせの　時間に　おくれました。

A　なるべく　　B　けっして　　C　なかなか　　D　ぜったい

9　読んだ　本は　本だなに　もどして　＿＿＿＿　ください。

A　あって　　B　おいて　　C　うって　　D　かりて

10　兄＿＿＿＿　英語を　教えて　もらいました。

A　で　　B　を　　C　に　　D　へ

Ⅱ　＿＿＿＿と　一ばん　かんけいが　ある　ものを　A～Dの　中から　一つ　えらびなさい。

（例）　けさ　コーヒーを　のみました。

A　きょうの　あさ

B　きょうの　ゆうがた

C　きのうの　あさ

D　きのうの　ゆうがた

1　きょうは　ひえますね。

A　気持ちが　いいですね　　B　暖かいですね

C　いい　天気ですね　　D　寒いですね

2　店員：「いらっしゃいませ。どうぞ　手に　とって　ごらんください。」

A　着て　ください　　B　食べて　ください

C　見て　ください　　D　行って　ください

3　来月　両親が　日本に　来ます。

A　兄と　弟　　B　姉と　妹　　C　父と　母　　D　祖父と　祖母

4　うちで　ふくしゅうを　しました。

A　きょう　学校で　勉強した　ところを　うちで　もう一度　勉強しました

B　あした　学校で　勉強する　ところを　うちで　勉強しました

C　うちで　学生が　着る　服を　考えました

D　うちで　服の　作り方を　勉強しました

5　熱(ねつ)が　あるときは、学校(がっこう)を　休(やす)んで　ください。

A　熱(ねつ)が　あったり　　B　熱(ねつ)が　あると

C　熱(ねつ)が　あっても　　D　熱(ねつ)が　あったら

6　いくら　さがしても、見(み)つかりませんでした。

A　よく　さがしましたが、ありませんでした

B　いっしょうけんめい　さがして、やっと　出(で)てきました

C　何度(なんど)も　言(い)いましたが、さがしませんでした

D　何回(なんかい)も　さがして、どこに　あるか　わかりました

7　来月(らいげつ)　大阪(おおさか)に　行(い)く　予定(よてい)でしたが、行(い)けなく　なりました。

A　行(い)きたがりました　　B　行(い)った　つもりでした

C　行(い)く　つもりでした　　D　行(い)って　しまいました

8　田中(たなか)さんに　「どうも　すみませんでした。」と　言(い)いました。

A　おいわいを　言(い)いました　　B　おみまいを　言(い)いました

C　あやまりました　　D　注意(ちゅうい)しました

9　最近(さいきん)、海外旅行(かいがいりょこう)に　行(い)く　人(ひと)が　ずいぶん　増(ふ)えました。

A　少(すこ)し　多(おお)く　なりました　　B　だいぶ　多(おお)く　なりました

C　けっこう　少(すく)なく　なりました　　D　ちょっと　少(すく)なく　なりました

10　あの　人(ひと)は　ぜったい　そんな　ことを　しないと　思(おも)います。

A　あの　人(ひと)は　かならず　そんな　ことを　するでしょう

B　あの　人(ひと)は　そんな　ことしか　できません

C　あの　人(ひと)は　そんな　ことを　しなければ　なりません

D　あの　人(ひと)が　そんな　ことを　する　はずが　ありません

Ⅲ ＿＿＿＿＿に　入る　一ばん　てきとうな　ものを　A～Dの　中から　一つ　えらびなさい。

1　母：「いってらっしゃい。きょうも　遅くなるようなら、電話してね。」
子：「うん。＿＿＿＿＿、きょうは　たぶん　早く　帰れるよ。」

A　そして　　B　それに　　C　それで　　D　でも

2　田中さん：「きょうは　来て　くれて　ありがとう。気を　つけて　帰って　くださいね。」
山田さん：「こちらこそ　ありがとうございました。＿＿＿＿＿。」

A　いってきます　　B　しつれいします
C　おかえりなさい　　D　こんばんは

3　田中さん：「すみません、ちょっと　＿＿＿＿＿　ことが　あるんですが……。」
山田さん：「はい。」
田中さん：「この　資料を　あしたの　会議で　使うので、コピーを　して　おいて　もらえませんか。」
山田さん：「わかりました。」

A　たのみたい　　B　なりたい
C　はこびたい　　D　まに　あいたい

4　山田さん：「あした　台風が　来るみたいだけど、大学の　授業は　あるのかな。」
田中さん：「＿＿＿＿＿。先生に　聞いて　みよう。」

A　どうだろう　　B　うん、そうしたいね
C　ううん、ちがうよ　　D　そうじゃ　ないよ

5　レストランの店員（てんいん）　：「＿＿＿＿＿。ハンバーグ・セットの　お客（きゃく）さまは……。」
田中（たなか）さん　：「あ、わたしです。」
レストランの店員（てんいん）　：「熱（あつ）いので　お気（き）を　つけて　おめしあがりください。」

A　いかがですか　　B　おまたせしました
C　いただきます　　D　ただいま

Ⅳ　＿＿＿の　**ひらがな**と　同（おな）じ　漢字（かんじ）で　かくものを　A～Dの　中（なか）から　一（ひと）つ　えらびなさい。

（例（れい））　山の　天気は　よく　<u>か</u>わります。
A　来月の　十<u>か</u>は　休みです。
B　今日は　<u>か</u>よう日です。
C　弟は　<u>へん</u>な　服を　きています。
D　本を　<u>よ</u>みます。
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
山の　天気は　よく　<u>変</u>わります。
A　十<u>日</u>　B　<u>火</u>よう日　C　<u>変</u>　D　<u>読</u>みます

答え．　C

1　日曜日の　都<u>ごう</u>は　どうですか。
A　暑いですから、まどを　<u>あ</u>けましょう。
B　走ったので、授業に　間に　<u>あ</u>いました。
C　ビルの　屋上に　<u>あ</u>がりました。
D　きのう、駅で　山田先生に　<u>あ</u>いました。

2　父は　病気で　<u>にゅう</u>院して　います。
A　60歳<u>い</u>上の　人は　無料です。
B　自分の　<u>い</u>見は　はっきり　言った　ほうが　いいです。
C　大学を　出たら　<u>い</u>者に　なりたいと　思って　います。
D　映画館の　<u>い</u>り口で　待って　いて　ください。

3　私の　町の　図 しょ 館は　公園の　中に　あります。

A　毎週　土曜日に　家族と　か い物に　行きます。

B　先生に　日本語の　本を　か りました。

C　友だちが　急いでいたので、自転車を　か して　あげました。

D　毎日　漢字を　か いて　練習しています。

4　彼女は　みんなに　親 せつ です。

A　台風で　大きい　き が　たおれました。

B　寒いので、あつい　コートを　き ました。

C　ケーキを　8つに　き りましょう。

D　休みの　あいだ、元 き でしたか。

5　父は　タクシーの　運転 しゅ です。

A　質問が　あったら、て を　あげて　ください。

B　おふろに　入って、からだ を　あらいました。

C　テレビを　見すぎて、め が　悪く　なりました。

D　たくさん　歩いて、あし が　いたいです。

Ⅴ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

（１）世界には2万5千種類ぐらいの魚がいます。ほとんどの魚は生まれてから死ぬまでずっと海や川、湖の水の中にいますが、水から出る魚もいます。例えば、ある種類の魚は卵を生むとき、他の動物に卵を食べられないように、海岸に出て少し歩くように進んでから卵を生みます。大きい動物に食べられそうになったときに、水から出て200メートルぐらい飛んで逃げる魚もいます。ほとんど水の中に入らない、泳ぐのが苦手な魚もいるそうです。

問い１　文の内容に合っているものはどれですか。

A　多くの魚は水からほとんど出ません。

B　ほとんどの魚は、卵を生むために水から出ます。

C　大きい動物に食べられそうなとき、海岸を歩く魚がいます。

D　泳ぐより空を飛ぶ方が上手な魚がいます。

（２）田中さんは日本の中学校で数学を教えていました。夏休みに外国に旅行に行って、そこでビールを飲みました。そのビールがとてもおいしかったので、田中さんはそこの人に作り方を聞いて帰りました。田中さんは国に帰ってから、学校の仕事をやめて、ビールの会社を作りました。田中さんの会社のビールはいろいろなところで売られて、とても有名になりました。田中さんは、自分の会社で作ったビールが飲めるレストランも作りたいと考えています。

問い２　文の内容に合っているものはどれですか。

A　田中さんは日本でおいしいビールを飲んで、作り方を教えてもらいました。

B　田中さんはビールの会社を作った後で、学校の仕事をやめました。

C　今、たくさんの人が田中さんの会社のビールを知っています。

D　田中さんは今、ビールの会社とレストランの社長です。

（3）世界には、朝に仕事や勉強をするのが得意な「朝型」の人と、反対に、夜に活動する方が好きな「夜型」の人がいます。日本には、朝型の人も夜型の人も30%ずついて、どちらでもない人が40%ぐらいいるそうです。朝型の人が夜型に、夜型の人が朝型になるのは難しいという研究結果もあります。日本の会社は朝早くから始まるところが多いですが、会社に行く時間や帰る時間を選べる会社も増えていて、夜型の人も働きやすくなってきています。

問い3　文の内容に合っているものはどれですか。

A　夜型の人は朝より夜に仕事や勉強をするのが得意です。

B　日本には朝型でもなく、夜型でもない人が30%ぐらいいます。

C　人は朝型になるか、夜型になるか、自由に選ぶことができます。

D　日本ではどの会社でも、会社に行く時間と帰る時間を自分で決められます。

（4）山田さんの趣味はいろいろなものを修理することです。子どものころから壊れたものを修理してまた使えるようにするのが好きで、今までにテレビやエアコン、自転車などの修理をしました。家族や友だちからもらった古いものを修理して自分で使いますから、あまり新しいものは買いません。今、山田さんは大学で電気やコンピューターについて勉強しながら、電気屋さんでアルバイトをしています。山田さんの夢は修理が専門の、自分の店を持つことです。

問い4　文の内容に合っているものはどれですか。

A　山田さんは大学に入ってから修理が趣味になりました。

B　山田さんは新しいものを買ったことがありません。

C　山田さんは電気やコンピューターが専門の大学生です。

D　山田さんは修理が専門の店で働いています。

（５）A町にはおもしろい天気予報があります。A町の南に大きいパンの工場があります。A町に雨が降る前、いつも南から風がふきます。南から風がふくと、町中でパンのおいしそうなにおいがします。それで、A町に住んでいる人たちはパンのにおいがすると、もうすぐ雨が降ることがわかります。でも、土曜日と日曜日はパンの工場は休みです。土曜日と日曜日はパンのにおいがしませんから、A町の人は土曜日と日曜日はテレビの天気予報をよく見るそうです。

問い５　文の内容に合っているものはどれですか。

A　A町に雨が降っているとき、いつもパンのにおいがします。

B　A町の人は、パンのにおいで今から雨が降ることがわかります。

C　A町のパンの工場では、毎日パンを作っています。

D　A町の人は、ぜんぜんテレビの天気予報を見ません。

問　題

B

Intermediate Level

Ⅰ ＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1　忘れ物をしたことに気がついて、うちに＿＿＿＿。

A　引き受けた　　B　引き返した　　C　受け持った　　D　受け取った

2　工事が終わるのに、いったい何年かかる＿＿＿＿。

A　ことか　　B　ものではない　　C　ことだ　　D　ものだ

3　＿＿＿＿は人に話すとすっきりしますよ。

A　残念　　B　納得　　C　否定　　D　悩み

4　彼は家族の期待に＿＿＿＿、一流企業に就職した。

A　比べて　　B　関して　　C　おいて　　D　こたえて

5　祖母はいつも＿＿＿＿文句を言っている。

A　ぶつぶつ　　B　おのおの　　C　ごろごろ　　D　ひろびろ

6　これは同僚と考え＿＿＿＿出した結論です。

A　ぬいて　　B　たてて　　C　めぐって　　D　かけて

7　この写真を見ていると、子どものころの＿＿＿＿気持ちを思い出す。

A　乱暴な　　B　快適な　　C　純粋な　　D　上品な

8　今の気持ちは、ことばでは＿＿＿＿ようがない。

A　表す　　B　表し　　C　表した　　D　表そう

9　景気が悪くなる一方なので、会社経営からは手を＿＿＿＿ことにした。

A　見る　　B　打つ　　C　上げる　　D　引く

10　さわるなと言われると、さわりたくて＿＿＿＿。

A　ないではいられない　　B　こともない

C　ないことはない　　D　しょうがない

Ⅱ ＿＿＿＿とほぼ同じ内容のもの、または、＿＿＿＿と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1　授業をサボっていたので、勉強の内容がわからなくなってしまった。

A　まとめて　　B　そろえて　　C　なまけて　　D　かんがえて

2　書類は準備ができたらすぐお送りします。

A　できてさえ　　B　できる一方で　　C　できたとたん　　D　でき次第

3　決心がつかなかったので、あいまいに答えた。

A　ちゃんと答えた　　B　はっきり答えなかった

C　短く答えた　　D　てきとうに答えなかった

4　お酒を飲んだら、運転してはいけない。

A　ハンドルを握って　　B　タイヤを持って

C　スピードを出して　　D　ブレーキをかけて

5　よりよい仕事を求めて外国に移る若者が多く、この国の人口は減りつつある。

A　急に減った　　B　少しずつ減っている

C　そのうち減りそうだ　　D　減ってしまった

6　新しいプロジェクトのミーティングをする。

A　組み合わせ　　B　持ち合わせ　　C　打ち合わせ　　D　問い合わせ

7　この地域ではどのような野菜や果物が作られていますか。

A　原産　　B　産地　　C　作物　　D　物置

8　「どうぞおかけになってください。」

A　すわって　　B　食べて　　C　入って　　D　着て

9　あの美術館は大きくはないが、たくさんの見事な作品がある。

A　もったいない　　B　なつかしい

C　めずらしい　　D　すばらしい

10　約束した以上は、守らなければならない。

A　からといって　B　からいうと　C　からして　D　からには

Ⅲ　＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1　田中さん：「こちらが私たちの会社で新たに開発したソフトウェアなんですが、ぜひ御社でもお使いいただけませんか。」
山田さん：「＿＿＿＿ので、一度、社に持ち帰って検討させてください。」

A　話し合うというものではない　B　今、決めずにはいられない
C　私一人では決めかねます　D　会議をしないことはない

2　医者：「今日はどうしましたか。」
患者：「1週間ぐらい前から、のどが痛いんです。熱はないので様子を見ていたんですが、痛みが続いているので……。」
医者：「口を大きく開けてください。ああ、＿＿＿＿。」

A　やはり赤くなってますね　B　もう痛くないですね
C　熱が出ていませんね　D　治っていますね

3　田中さん：「このレポートのしめきり、明日までだったよね。」
山田さん：「＿＿＿＿　ちょっと確認してみる。」

A　そうだったっけ。　B　そんなことも知らないの？
C　そうしたいなあ。　D　どうしてそんなこと言ったの？

4　田中さん：「すみません、これ昨日ここで買ったんですけど、サイズが合わなかったので返品をお願いしたいんですが。」
店　員　：「かしこまりました。＿＿＿＿＿。」
田中さん：「あ、はい。」
店　員　：「ありがとうございます。それでは、手続きをいたしますので、少々お待ちください。」

A　サイズはいいですか
B　レシートはお持ちですか
C　何時ごろでしたか
D　ここで買いましたか

5　田中さん：「部長、新しいプロジェクトの資料を作ったので、見ていただけませんか。」
部　長　：「早速作ってくれたのか。どれどれ……。うん、きれいにまとまっていて見やすいよ。」
田中さん：「ありがとうございます。ただ、3ページのデータのところが気になるんですが、そちらはいかがでしょうか。」
部　長　：「そうだなあ、＿＿＿＿＿。」
田中さん：「やはり、そうですか。前の資料を参考にして、修正してみます。」

A　よくできているから、直すところはないと思うよ
B　確かに、見せ方をもう少し工夫したほうがいいかもしれないな
C　新しいプロジェクトについてわかりやすいまとめ方だな
D　ぜんぜんわからないから、資料を全部変えたほうがいいよ

Ⅳ　＿＿＿の**ひらがな**と同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選びなさい。

1　電車でお年＿**よ**＿りに席をゆずった。
A　日本は四＿**き**＿がはっきりしていると言われている。
B　1か月で100万円の＿**き**＿付が集まった。
C　雨のため、屋外イベントが延＿**き**＿になった。
D　母は音楽が好きで、家にはいろいろな楽＿**き**＿がある。

2　みんなで知 **え** を出し合って、大学のイベントの準備を進めた。

A　ボランティア活動をした **けい** 験がある。

B　雨の日は、道路がこむ **けい** 向にある。

C　あの画家はいなかの風 **けい** をえがくのが好きだ。

D　私たちは自然の恩 **けい** を受けて生きている。

3　うちの畑では、様々な野菜が **と** れる。

A　テストの後、先生はすぐに **さい** 点をした。

B　これは実 **さい** にあった話だ。

C　地震でこわれた家がようやく **さい** 建された。

D　明日は **さい** 日で、仕事は休みだ。

4　着物を着るときは **おび** が必要だ。

A　スター選手の引 **たい** が発表された。

B　このアニメは子どもを **たい** 象としている。

C　このあたりは工業地 **たい** で一日中うるさい。

D　目的地は遠いので、交 **たい** で運転しよう。

5　母はいつもきれいにりんごの **かわ** をむく。

A　楽しい内容のドラマだと思っていたら、実は **ひ** 劇だった。

B　今回の台風では多くの家が **ひ** 害を受けた。

C　姉はいつも私に **ひ** 肉ばかり言う。

D　彼はうわさを完全に **ひ** 定した。

Ⅴ　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

会話は、自分の話したことがきちんと相手に受け止められると思うことによって、お互いに盛り上がる。きちんと受け止めたかどうかを示すのが、（1）相手の言っていることを自分の言葉で言い換えるというレスポンス（応答）だ。「なるほど」、「そうですね」、「たしかに」といった相槌だけでも、会話は潤滑油を注がれたように滑らかになる。

この相槌をより高度にしたものが「自分の言葉で言い換える」ということだ。相手の言葉を鵬鵡返しにするだけでも、会話のリズムはよくなる。それをヴァージョンアップ

させて、言葉を換えて同じ内容を言い換えることができれば、相手の言っている内容をしっかりと理解しつかまえていることが、相手側にもはっきりと伝わる。「同じ内容を自分の言葉で言い換えてみよ」という課題は、幼い頃から繰り返し練習する価値のあるものだ。この（2）「言い換え力」は、コミュニケーションの中でもっとも基礎的なもののひとつだ。

自分の言葉で言い換えるためには、語彙が豊富である必要がある。それは読書によって効率よく鍛えられるものだ。言い換えにはコツがある。抽象的なものは、具体的なものに少し直し、具体的な発言に対しては、少し抽象度の高い言い方で言い換える。

新書系の本の場合は、論旨が具体例とセットになって書かれていることが多い。一般的な言い方の文章の後に、「たとえば」というように例が挙げられる。これを二人の会話で行うということだ。一般的な発言に対しては具体例を、具体例を相手が挙げれば、それを一般化する。こうしたやりとりによって、幹を失わない、しかも起伏のある会話ができる。

（3）会話をしていて相手が喜ぶのは、自分のいった話が無駄に終わらずきちんと相手に届いて、しかも生かされていると感じる場合だ。それが具体的にはっきりするのは、相手の話の中に自分の言ったキーワードが入り込んでいるかどうかである。自分の発言の中でも、重要だと自分が感じていた言葉（キーワード）を相手が使ってくれれば、それだけでも会話に勢いが出てくる。

しかしこの程度のことならば、読書をしなくても何とかできるかもしれない。読書経験が生きてくるのは、五分前、十分前、二十分前に話された相手の言葉を引用して会話に組み込める技においてだ。現在の文脈そのものには出てこない、いわば、すでに地下に潜ってしまった水脈を、もう一度掘り起こすのである。

その言葉を話した当人でさえも、今の時点では意識していない言葉を、もう一度舞台に上げる。すると、相手は自分の過去に話した話と現在の話とが結びつくのを感じ、自分の中に脈絡ができたことを喜ぶ。もっとも気が利いているのは、話している相手がつながっていないものをつなげてあげるということだ。こうしたことができるためには、相手の言葉をしっかりと押さえておく必要がある。この力をつけるためには、「（4）メモを取る習慣」が必要だ。

私はちょっとした会話でも、簡単なメモを取る。図にすることもある。メモを取っておけば、相手の話の脈絡がつかみやすい。会話をクリエイティブにするには、自分の思考と相手の思考とを混ぜ合わせることが必要だ。自分の言いたいことだけ言って終わりという人をしばしば見かける。これは思考のすり合わせができていないケースだ。メモを取る習慣のある人は、自分の脈絡だけで話をしないようになる。

（齋藤孝『読書力』より、一部表記を改めた）

問い１　下線部（１）相手の言っていることを自分の言葉で言い換える ということについて正しいものはどれですか。

A　「なるほど」、「そうですね」といった言葉を返すことである。

B　相手の言葉をそのままくり返すことである。

C　相手の言っていることと内容の点では変わらない。

D　相手には言い換えたということがわからない。

問い２　下線部（２）「言い換え力」 について間違っているものはどれですか。

A　読書をすることが役に立つ。

B　相手が抽象的なことを言ったら、それを具体的なものに直す。

C　子どものころからたくさん練習してのばすのがよい。

D　相手が言った一般的なことを、もっと抽象的なものにする。

問い３　下線部（３）会話をしていて相手が喜ぶ のはどんなときですか。

A　自分が役に立つと思っている言葉が、話し相手にも役に立ったとき。

B　自分が重要だと思っていることを、話し相手が知らなかったとき。

C　自分が忘れてしまった言葉の意味を、話し相手が教えてくれたとき。

D　自分が少し前に話した言葉を、話し相手が引用して使ってくれたとき。

問い４　下線部（４）メモを取る ことについて正しいものはどれですか。

A　メモを取る人は、自分が言いたいことをはっきりさせることができる。

B　メモを取ることで、相手が言ったことと自分の考えとをつなぐことができる。

C　メモを取るよりもっといいのは、相手が言ったことを図にすることである。

D　メモを取るためには、相手が言ったことをすべて聞き取る必要がある。

問い５　この文章の内容に合っているものはどれですか。

A　会話をよりよいものにするためには、話し相手が言ったことの中でどこが重要かを理解する必要がある。

B　話し相手が言ったことをそのままくり返すことができるようになるためには、たくさん読書をするとよい。

C　会話を楽しむためには、自分のキーワードを自分の話の中に何回か入れていくとよい。

D　メモを取ると、自分の言いたいことだけを言って、会話を早く終わらせることができる。

問　題

C

Advanced Level

Ⅰ　＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1　このプロジェクトの成功は、みなさまのご協力＿＿＿＿ものと感謝しています。
A　あっての　　B　こその　　C　ですら　　D　きっての

2　その選手は厳しいトレーニングを重ねて、＿＿＿＿とした体つきになった。
A　びっしょり　　B　げっそり　　C　がっくり　　D　がっしり

3　彼はダイエットのしすぎで病気になり、入院する＿＿＿＿。
A　しまつだ　　B　あまりだ　　C　すえだ　　D　いたりだ

4　国の将来を＿＿＿＿子どもたちの教育に、もっと力を入れなければならない。
A　そむく　　B　かばう　　C　になう　　D　あかす

5　試合に＿＿＿＿、妹はすっかり元気をなくしてしまった。
A　負けんがため　　B　負けるかたわら
C　負けてからというもの　　D　負けたあげく

6　古くから伝わる大切な伝統を＿＿＿＿いかなければならない。
A　受け継いで　　B　受け付けて　　C　受け流して　　D　受け持って

7　突然、支社への＿＿＿＿が決まって驚いた。
A　転移　　B　移住　　C　異郷　　D　異動

8　今年の社員研修は、終始いい＿＿＿＿だった。
A　ポーズ　　B　ムード　　C　フォーム　　D　ブーム

9　政府は十分な議論をしないまま、その議案を＿＿＿＿採決した。
A　強力　　B　強制　　C　強行　　D　強化

10　うちの子は＿＿＿＿にくわないことがあると、すぐに泣いて大声を出すので困っている。
A　体　　B　気　　C　目　　D　心

Ⅱ ＿＿＿＿＿とほぼ同じ内容のもの、または、＿＿＿＿＿と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1　いつもは部屋をきれいにしているのに、散らかしているときだけ客が来る。

A　にわたって　　B　にかけて　　C　にいたって　D　にかぎって

2　会議で新事業のだいたいの内容について説明する。

A　大幅な　　B　大まかな　　C　完璧な　　D　活発な

3　弱い者をだまして金を取るなど、人としてあってはならない行為だ。

A　あらずもがな　　B　ありふれた

C　あるともない　　D　あるまじき

4　うちの犬は私を見ると、飛びつきそうな勢いでこちらに走ってきた。

A　飛びついてやまない　　B　飛びつきっぱなしの

C　飛びつくにたえない　　D　飛びつかんばかりの

5　片づけたそばから子どもに部屋を散らかされてしまう。

A　片づけてもすぐに　　B　片づけてしばらくたってから

C　片づけようと思うが　　D　片づけられないので

6　故障したボートがふらふらと浮いているのが発見された。

A　とろけて　　B　ただよって　　C　たまわって　D　とうとんで

7　この企業は積極的に地域に貢献する事業を行っている。

A　事業に成り立っている　　B　事業に組み込んでいる

C　事業に取り組んでいる　　D　事業に放り込んでいる

8　彼は遅刻や無断欠勤を繰り返し、とうとう会社をやめさせられた。

A　首になった　　B　顔になった　　C　頭になった　D　足になった

9　いつまでたっても彼女があんなことを言ったのは腑(ふ)に落ちない。

A　訂正できない　　B　納得できない

C　感心できない　　D　対応できない

10　決められている書類に必要事項を書いて、提出してください。

A　所蔵の　　B　所定の　　C　所属の　　D　所在の

Ⅲ　＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1　田中さん：「わあ、すごい人。開店前からこんなに並んでたんじゃ、新型のスマホ、すぐに売り切れちゃうんじゃない？」

山田さん：「＿＿＿＿。みんながみんな一台ずつ買うとも限らないし。」

田中さん：「そうね、整理券か何か配られるかもしれないし、待ってみようか。」

A　オンラインで発売されるのを待ったほうがいいよ

B　せっかく来たんだし、並んでみようよ

C　並んで待つのは、気が進まないよ

D　整理券があるか、聞いてみようよ

2　田中さん：「朝から＿＿＿＿、どうしたの？」

山田さん：「なんだか最近ついてなくて……。」

田中さん：「何かあったの？　私でよかったら、話、聞くよ。」

A　あくびばかりして　　B　深呼吸ばかりして

C　ため息ばかりついて　　D　くしゃみばかりして

3　田中さん：「そのセーター、すてきですね。」
山田さん：「これ、実は、自分で編んだんですよ。」
田中さん：「へえ、そうなんですか。山田さんって、＿＿＿＿＿。」

A　よく手が回るんですね　　B　手先が器用なんですね
C　巧妙な手を使うんですね　　D　頭が切れるんですね

4　学生：「先生、すみません。先週の授業のことなんですが……。」
先生：「はい、どうしましたか。」
学生：「＿＿＿＿＿。」
先生：「課題は今週末までなので、ほかの人に授業や課題の内容を聞いて、提出してください。」
学生：「わかりました。ありがとうございます。」

A　あまり理解できなかったので、補講をして説明していただけませんでしょうか
B　アルバイトがあるので休みたいんですが、かわりに課題を出していただけませんか
C　体調が悪くて休んでしまったんですが、その日の分の課題はどうしたらいいでしょうか
D　休講でしたが、今週補講の予定はありますか

5　山 田 さ ん ：「もしもし。診察の時間についてうかがいたいのですが……。」

歯医者の受付：「はい、当院の診察時間は平日の朝9時半から12時までとなっております。午後も2時から7時まで診察しておりますが、こちらは予約制でございます。」

山 田 さ ん ：「ということは、＿＿＿＿＿。」

歯医者の受付：「はい。ただ、待ち時間が長くなることもございますので、ご予約の上、午後の時間帯の診療をおすすめしております。」

山 田 さ ん ：「そうですか。じゃあ、予約をお願いします。」

A　朝一番に来るのがよさそうですね

B　平日の午後は予約が必要ないんですね

C　いつ行くにしても早めに行ったほうがよさそうですね

D　平日の午前中だったら予約しなくても診てもらえるってことですか

Ⅳ　＿＿＿＿の**ひらがな**と同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選びなさい。

1　将来は医療に＿**たずさ**＿わる仕事をしたいと思っている。

A　専門分野について体＿**けい**＿的に知る必要がある。

B　祖父が撮った写真が地元の新聞に＿**けい**＿載された。

C　テレビで事故の様子を中＿**けい**＿で伝えている。

D　この会社は、他社と提＿**けい**＿して売り上げがアップした。

2　難民に無料で医療を＿**ほどこ**＿している団体がある。

A　市は空き地に新しく高齢者向けの＿**し**＿設を建設する予定だ。

B　姉は4年間大学で経済学を専攻し、学＿**し**＿号を取得した。

C　上司が会議の趣＿**し**＿を簡単に述べた。

D　首相は＿**し**＿察のために地方都市を訪問した。

3　学校では校則に__したが__わなければならない。

A　__じゅう__来とは異なるエネルギー資源の開発が期待されている。

B　子どものころはよく怪__じゅう__が登場するアニメを見ていた。

C　ヘリコプターを操__じゅう__するためには免許が必要だ。

D　コピー用紙を補__じゅう__しておくよう、上司に頼まれた。

4　ボランティア活動で、道__ばた__に花を植えた。

A　若者は失敗を恐れず、大__たん__に行動するべきだ。

B　彼は冷__たん__で、周りから好かれているとは言えない。

C　彼女は考え方がいつも極__たん__だ。

D　留学中に母の病気を知らされ、一__たん__帰国することにした。

5　会社の健康診断では身長を__はか__ることになっている。

A　商品の値段は箱の__そく__面に書いてある。

B　漢字を知らなくても、文脈から意味が推__そく__できることがある。

C　面接では質問されたら__そく__座に答えなくてはならない。

D　原__そく__として、試験中に席を立つことは許されない。

Ⅴ　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

（1）「限界集落」という言葉を聞いたことがあるだろうか。

1988（昭和63）年に、高知県の過疎山村の実態を調査していた大野晃（おおのあきら）氏（当時・高知大学）が発案した概念で、高齢化率50パーセントを超える集落を指す。集落人口の半分以上が高齢者になると、集落の色んな生活共同が成り立たなくなり、やがては消滅に至る可能性がある。そのため高齢化の進行が進むもっと前の段階で手を打ち、集落の崩壊や消滅に備えていこうと、そういう考えから提唱されたものだ。

この約30年前の大野氏の議論は、あくまで注意を喚起し、消滅しないよう準備していこうというものだった。

だが今では、どこかで集落の消滅は避けられない運命にあり、日本中でそうした村の崩壊がじりじりと進んでいる――。限界集落というと、どうもそんなイメージをみながもってしまっているようだ。日本の山村や離島にはお年寄りばかりの村がある。荒れた

田畑。住まなくなった家。戸数が減り限界が来て、やがて村が消えていく、と。

だけど、ちょっとまって。皆さんの中で最近消えた村って聞いたことある人いる？

そもそも限界集落の語が示されたのは、今から約30年も前のこと。だいたい次々と村が消えていくのなら、消えた村はもっと頻繁に目につくものであるはずだ。

例えば、大野氏が最初に限界集落を確認したという高知県。ここでさえ消滅事例はほとんど聞かれない。あってもごくわずかだ。

僕は仕事柄、色んな地域をまわる方だが、各地で聞いても、依然として高齢化が理由で村を閉じたという話を聞くことはない。むしろ逆に戸数が少なくなっても、なおもしっかりと持続していこうとする村の姿をこそ、色んなところで目にするものだ。限界集落問題の提唱から30年たってわかることは、（２）むしろ「村はしぶとい」ということである。（中略）

限界集落は全国に1万カ所あるといわれている。だが、数は増えてもなかなか消えない。その理由はなんだろうか。

一つは、地方自治体がちゃんと機能し、守っているからである。

確かに、現実に20戸もあった集落が2戸、3戸になってしまえば、集落は地域としての役割を果たしにくくなる。だがそれはそれでしっかりと行政が支え、道路や水道などをふつうに維持さえしていれば、たとえお年寄りの一人暮らしであっても別にそう困ることはない。「行政に頼って存続するような集落なんか、早くなくなった方がいいんじゃないですか」と、そんな声がかえってきそうだが、そういっている君、行政サービスに頼って生きているということでは都会の暮らしも変わりはない。（３）君自身もそうなのだ。

いや、むしろ都会の生活に比べれば、限界集落で暮らすお年寄りたちはそこまで行政に頼って生きてはいない。戸数は減っても互いに助けあっており、その支えあいは都会の暮らしに比べてかなり濃密だ。地域の共同管理も自分たちでできている。なによりそこに住む人の多くは野良仕事に出ているから健康。行政に頼っているのは、個人では確保が難しい公共インフラだけだ。

だが第二にもっと大きな理由がある。

それは家族の支えである。限界集落の高齢者は、たとえ一人暮らしでも家族から孤立して暮らしているわけではない。

一般に都市よりも農村で、それも山村や離島の方で、一夫婦あたりの子どもの数は多いといわれる。限界集落の高齢者たちにはたいてい子どもがおり、また孫がいる。その人たちは決して皆が遠くに行ってしまったわけではない。必ず誰かは近くにいて、高齢者の面倒を見ている。いやそれどころか、こうした山村のおじいさん、おばあさんのところに娘が自分の子ども（孫）を預けたり、畑や山のものをもらったりすることで、都

会の暮らしを支えていることさえある。要するに、離れて暮らしてはいるが家族は決して切れてはおらず、互いに支えあって生きているというわけだ。（中略）

家が生きている限り、どんなに過疎化が進んでも村はその力を保持し続ける。現実にその地から排出した人々をつなぎとどめ、外から通わせたり、必要となれば帰らせたり、場合によっては新しい人を呼び込んだりして地域存続をはかるものなのだ。それが限界集落が長期にわたって維持されている理由である。

（山下祐介『地域学をはじめよう』より、一部表記を改めた）

問い１　下線部（１）「限界集落」について本文の内容に合っているものはどれですか。

A　人口に対する高齢者の割合が50パーセント以上の集落が「限界集落」である。

B　お年寄りが住む村が「限界集落」であり、日本の山村や離島だけにある。

C　過疎化によって将来必ず消滅すると考えられている村が「限界集落」である。

D　「限界集落」は高齢者が住む家2～3戸で構成される村のことである。

問い２　下線部（２）むしろ「村はしぶとい」ということである とはどのようなことですか。

A　筆者が話を聞いた村は行政サービスが行き届いていたということ。

B　30年ぐらいかけて少しずつ村の数が減っていくということ。

C　限界集落と言われていても、実際になくなる村は少ないということ。

D　高齢化以外の原因で村がなくなってしまうことはないということ。

問い３　下線部（３）君自身もそうなのだ はどのようなことを指していますか

A　限界集落に住んでいる高齢者も、公共インフラに頼らずに健康に生活していること。

B　限界集落から出て行こうかと考えている田舎の人も、助けあって生活していること。

C　限界集落で一人暮らしをしている人も、道路や水道などを使っていること。

D　限界集落はなくなった方がいいという人も、行政サービスに頼った暮らしをしていること。

問い４　限界集落が長期にわたって維持されている理由として、本文の内容に合っていないものはどれですか。

A　住民同士で助けあい、地域を共同で管理できていること。

B　地方自治体が公共インフラを整備していること。

C　それぞれの住民が家族から孤立して暮らしていること。

D　離れたところに住んでいても家族で支えあっていること。

問い５　本文の内容に合っているものはどれですか。

A　限界集落に住むお年寄りが都会に住んでいる家族の助けになっていることもある。

B　限界集落は日本全国に約30カ所あり、年々増加している。

C　一般的に人口が多い場所の方が一夫婦あたりの子どもの数は多いといわれる。

D　山村や離島の村を出て都会に行った人が元の村に戻って生活することはない。